

【NEWS RELEASE】

2019年8月21日

各 位

株式会社三井住友銀行

ソシオークホールディングス株式会社に「SDGs推進融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO: 高島 誠）は、ソシオークホールディングス株式会社（代表取締役社長: 大隈 太嘉志）に「SDGs推進融資」（1）を実施いたしました。これは「SDGs推進融資」の初めての成約事例となります。

「SDGs推進融資」は、融資実行時に、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長: 谷崎 勝教）が、企業のSDGs（2）に関する現状の取組状況を確認した上で、本業を通じたSDGs貢献への道すじ（ロジック）を分析し、SDGsの取組推進に向けたアドバイス等をご提供する融資商品です。

今回対象となりました、ソシオークホールディングス株式会社については、以下に記す事業を通じて、SDGsの目標達成に向けた貢献が期待できると判断されました。

学校給食事業における給食残さ削減の取組、およびコントラクトフード事業における児童への食育を通じた持続可能な開発のための教育推進

目標 12： つくる責任 つかう責任	ターゲット 12.3 2030年までに小売・消費レベルにおける世界全体の一人当たりの食料の廃棄を半減させ、収穫後損失などの生産・サプライチェーンにおける食品ロスを減少させる。
	ターゲット 12.8 2030年までに、人々があらゆる場所において、持続可能な開発及び自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識を持つようにする。

子育て支援事業における女性が働き続けられる環境の整備、およびパブリック事業における地域市民へのジェンダー平等などの意識向上・啓発

目標 5： ジェンダー 平等を実現 しよう	ターゲット 5.4 公共のサービス、インフラ及び社会保障政策の提供、並びに各国の状況に応じた世帯・家族内における責任分担を通じて、無報酬の育児・介護や家事労働を認識・評価する。
	ターゲット 5.5 政治、経済、公共分野でのあらゆるレベルの意思決定において、完全かつ効果的な女性の参画及び平等なリーダーシップの機会を確保する。

全事業におけるディーセント・ワークの推進

目標 8： 働きがいも 経済成長も	ターゲット 8.5 2030 年までに、若者や障がい者を含む全ての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、並びに同一労働同一賃金を達成する。
-------------------------	---

三井住友銀行では、「SDGs 推進融資」により、本業を通じ、SDGs が達成される社会の実現に貢献をしております。



学校給食事業



保育園事業



パブリック事業
(港区立男女平等参画センター)

<ご参考>

1 「SDGs 推進融資/私募債」について

SDGs は、企業に対して最低限取り組むべき、人権・環境・労働・腐敗防止等の観点からの責任を問う内容と、地球規模の環境・社会課題に対し、ビジネスとして解決を期待する内容が含まれています。

こうした環境の下、「SDGs 推進融資/私募債」は既にSDGs に関する取組を進められているお客さまや、これからSDGs 課題に取り組むことを検討されているお客さま等、幅広いお客さまを対象にSDGs の取組を応援することを目的としております。

2 SDGs とは

Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標) の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を 2030 年までに目指す 17 の目標と 169 のターゲットのことです。

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。